

健康経営 事例集

生き生き健康事業所宣言

実践企業

17社



はじめに

全国健康保険協会(協会けんぽ)群馬支部では、職場の健康づくりに取り組む企業を「生き生き健康事業所宣言」企業としてご登録いただき、応援・サポートをしております。

「健康経営[®]」は、単に医療費の適正化のみならず、企業の生産性向上、人材確保や定着、企業のイメージアップ等の効果が期待でき、企業におけるリスクマネジメントとしても重要となっております。

このたび、「生き生き健康事業所宣言」に登録し、積極的な取り組みを行う17社のご協力のもと、健康づくりに関する「取組事例」をまとめました。本事例集を貴事業所における健康づくりの参考としていただければ幸いです。

協会けんぽ群馬支部は、今後も職場の健康づくりに取り組む事業所様をしっかりとサポートさせていただきます。

令和2年3月

全国健康保険協会群馬支部

支部長 藤井 稔

※「健康経営[®]」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です

INDEX (五十音順)

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------|----------|----------------|-----------|-----------|-------------|---------|----------|-----------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|
| FILE 17 | FILE 16 | FILE 15 | FILE 14 | FILE 13 | FILE 12 | FILE 11 | FILE 10 | FILE 09 | FILE 08 | FILE 07 | FILE 06 | FILE 05 | FILE 04 | FILE 03 | FILE 02 | FILE 01 |
| 明盛宏産株式会社 | 株式会社ミツミ | 本州油化株式会社 | 株式会社ボルテックスセイグン | 株式会社野口製作所 | 株式会社中沢工業所 | 株式会社中沢ヴィレッジ | 株式会社鐵建 | 株式会社ソフィア | 医療法人社団美心会 | サンヨー株式会社 | 三幸機械株式会社 | 栄運輸株式会社 | 株式会社群馬バス | 桐生建設株式会社 | 太田商工会議所 | 石川建設株式会社 |



お客様・社員から「石川建設で良かった」と思われる会社を目指す



風通しの良い社内コミュニケーションを重視



▲社員の親睦と運動のために、定期的にフットボール大会を開催している

社員は財産、最高の仕事をするために、人を大事にする

石川建設株式会社は、創業以来80年の歴史を持ち、地域に根ざした社業を展開してきた。今日では、関東一円を営業エリアとし、各種建築物、インフラ建設など幅広い活動を展開している。

同社は社員を「人財」といい、「人材」といわない。なぜなら社員は、機械の部品のように交換可能な部品でなく、それぞれ自身が個性を持つ大事な人間だからである。

社業を発展させるためには、社員一人一人を重視した経営が重要だというポリシーを基本に多様な取り組みを行っている。その一つとして、健康経営優良法人に認定されている。

定期健診・二次検査はもちろんだが、全額会社負担でインフルエンザワクチンを全社員が接種。がんについてはPET検査を奨励し、50歳から5年ごとに行っている。

また、同社独自の「社員コンディション変化発見ツール」を開発。人工知能を用いた診断プログラムを実施している。毎月全社員にメールによる簡単なチェックシートが送られ、回答を行い、過去のデータをAIが分析し、心身の健康度をチェックする。

課題のある社員については、本部長などが面談して悩みを聞いたり、部署の異動などの処置をとることもある。



▲社員同士のコミュニケーションを重視した「コミュニケーション」制度を設置

「社員コンディション変化発見ツール」で心身のストレスチェック

定期健診・二次検査はもちろんだが、全額会社負担でインフルエンザワクチンを全社員が接種。がんについてはPET検査を奨励し、50歳から5年ごとに行っている。

また、同社独自の「社員コンディション変化発見ツール」を開発。人工知能を用いた診断プログラムを実施している。毎月全社員にメールによる簡単なチェックシートが送られ、回答を行い、過去のデータをAIが分析し、心身の健康度をチェックする。

課題のある社員については、本部長などが面談して悩みを聞いたり、部署の異動などの処置をとることもある。



▲受付には、アルコール消毒、マスクなどを常備

「コミュニケーション」に資金提供

子どもの送り迎えや介護のため、休暇ほどでは無いが、仕事を休みたい、という社員が増えてきた。そのため、1時間単位で有給休暇を申請できる制度をつくった。それまで遅刻や早退扱いだったので、社員には歓迎されている。

ストレス解消と良好な人間関係のために、社員の「コミュニケーション」に会社が社員一人一人に資金を提供している。部署の飲み会や親睦会などに利用され好評だ。また、社員の家族を招いてパーベキュー大会を開催し、親睦を深めるなど、会社・職場の活性化を進めている。

健康経営の取り組み

- ①インフルエンザ予防接種、がんのPET検査などを会社が補助
- ②AI活用の独自ツールで社員の心身の健康チェック
- ③養育・介護のための時間単位の有給休暇制度創設

始めた経緯

顧客満足、社員と家族の満足、地域貢献が会社のポリシーであり、そのため健康管理は欠かせないテーマ。協会けんぽからのすすめでエントリーしました。



石川 雅之 社長

「社員の幸福」と「顧客の満足」は車の両輪です！



高橋 和美 課長

安心して健康な職場が、顧客満足度につながります。そのための健康経営です

石川建設 株式会社

土木建築工事／その他建築工事全般



設立 1949年3月4日
代表取締役 石川 雅之
従業員数 231人 (2020年2月末現在)
〒373-0853 太田市浜町10-33
TEL 0276-45-1621
http://www.ishikawa-inc.co.jp/



より効果的な健康経営を模索



毎朝、始業時にラジオ体操を実施

職員の健康が

地域経済を支える

太田商工会議所は、地域の発展のために、地元商工業者が公共性を持った法人として活動し、現在の太田地域の発展を支えている。

商工業者の経営や法的な相談、行政との仲介をしているだけに、職員の健康管理には万全の配慮を持って当たっている。

定期健診は当然100%の受診率で、保健師の保健指導は、職場で勤務時間中に対応し、健康管理も業務の一つという自覚を持たせている。

多くの人が訪れる職場

なので消毒を徹底

商工会議所という職種から、会員の商工業者はもちろん、会議所棟は会議や展示会・セミナーなどさまざまな集まりに利用され、多数の人が出入りする。そのため、出入り口の消毒や、必要な場合、職員のマスク着用などを徹底している。

始業時のラジオ体操の実施、生活習慣病の予防のための血圧計、体重計などを配置



▲大勢の人が集まる場所なので、衛生管理には力を注いでいる

し、各自の健康への取り組みを応援している。

地域の事業所の

健康指南役をめざす

担当の総務課、

滝沢隆人 理事は「多くの会員の相談や、行政との連絡役をしている関係で、当会議所の職員は、地元事業所のお手本にならなくては、と感じています。そのため、さまざまな健康管理の施策を行っていきます。協会けんぽのチェックシートの事項は、すでに実行していたことです



▲協会けんぽの生き生き健康事業所宣言を行い健康づくりに取り組むことで健康経営優良法人の認定につながった

健康経営の取り組み

- ①健診100%、保健指導100%を実現
- ②ラジオ体操、消毒、生活習慣病対策を徹底
- ③協会けんぽをはじめ、各種の健康情報を収集し全職員で共有

始めた経緯

協会けんぽからすすめられ、特に当会議所の橋本文男専務理事は健康経営への意識が高く、是非にという指導で、エンターリーした。

太田商工会議所

経営支援／金融支援



設立 1947年2月
 頭 加藤 正己
 職員数 19人

〒373-8521 太田市浜町3-6
 TEL 0276-45-2121
 http://www.otacci.or.jp/



橋本 文男専務理事

職員、従業員の健康は、法人という組織の基本的な事柄。健康経営宣言は、総合的な観点で見直すきっかけになった



滝沢 隆人 理事

感染症の流行が、社会や経済活動を左右する時代です。多くの人の出入りする当会議所のような立場では、職員の健康はもちろん、関係者・団体の健康も考えていなくてはなりません



日常の生活の質を改善し、 予防に重点を置いた健康管理



社員の日頃の慰労や研修のため、社員旅行を実施している

大正7年創業の 実力派総合建設業

桐生建設株式会社は、大正7年（1918）に創業し、大型施設、インフラ、土木から個人住宅まで、幅広い分野を手掛ける。長年培ってきた信頼と、高い技術により、厚い信頼を集めている。

お客様のニーズの汲み上げ、完成後のフォローなど、すべて人の関わる分野だけに、優れた人材が最大の企業資産と位置づけ、その基礎となる社員の健康管理に力を注いできた。



▲生活習慣病に直結する血圧の自己管理を進め、定期的に測定するように社員を指導している



▲毎朝行っているラジオ体操

全社的に生活習慣病改善をはかる
多数の現場と協働会社があるため、始業時の安全衛生管理を徹底している。特に健康面では、一人一人の体調管理、ラジオ体操など点呼手順を遵守している。
定期健康診断や二次検査が必要な社員には、勤務時間中に通院させるなど、配慮している。こうした対応は、生き生き健康事業所宣言以前からのものだ。
健康管理への取り組みは、平成の前半に50代の社員3人が立て続けに生活習慣病で亡くなったことがきっかけになっている。それぞれ以前か



▲アルコール消毒、マスクなど健康用品を自由に使えるコーナーを随所に設置

らの持病を抱え、たまたま悪化して不幸が重なったが、会社として社員の健康により深く配慮すべきだという経営トップの判断により、見逃されがちな生活習慣まで踏み込んだ対応がなされている。

医療費を適正化

保健師の指導や相談はもちろん、フィットネススクラブの法人会員になり、社員が使えるようにしたり、血圧計や体重計を常備し、日常生活の中から、各人の健康増進を支援している。

その結果、社員の健康度がアップし、会社全体の医療費の適正化につながっている。

健康経営の取り組み

- ①インフルエンザ予防接種、がん検診などを会社が補助
- ②健康診断、二次検査はほぼ100%の受診率
- ③保健師の指導で生活習慣病改善を徹底指導

始めた経緯

20年ほど前、生活習慣病で社員3人が立て続けに亡くなった時期があり、社員の生活全般を、健康の視点で見直すようになった。

桐生建設 株式会社

総合建設業



設立 1918年10月6日
代表取締役 吉野 雅比古
従業員数 34人
〒376-0046 桐生市宮前町 2-14-1
TEL 0277-22-5112
http://www.kiriken.co.jp/



吉野 雅比古社長

普段の生活の質を改善し、予防に重点を置いた健康管理を心掛けています



吉野 隆雅さん

体の健康はもちろん、心のストレスを低減するため、社員の親睦などの機会を増やしています



お客様の安全と快適を保証 するための最善の健康管理



糖尿病は本人の生活習慣が大きく関わるため、講習会で各自の健康意識を啓蒙



▲生き生き健康事業所宣言以外にも、安全衛生面で同社は高く評価され、各種の表彰を受けている

お客様第一主義の実現のため、従業員の健康管理に尽力

株式会社群馬バスは、前身の旧群馬バス株式会社の時代を加えると、80年弱の歴史を持つ群馬を代表するバス会社。西毛・県央を中心に乗り合いや貸し切りバスを運行する。老舗としての伝統と、新時代に向かう先進性を併せ持ち、公共交通機関として厚い信頼を集めている。

お客様の安全を預かる仕事だけに、従業員の健康管理には最大限の資源を投入。その結果、健康経営優良法人、群馬県いきいきGカンパニーに選ばれているなど、高く評価されている。

コミュニケーションを重視した保健指導

同社の具体的な取り組みは、定期健診の100%受診や、二次検査の励行、インフルエンザ予防接種費用の一部負担など、基礎部分を的確に実施している。また、特定保健指導については、協会けんぽから保健師を各事業所に派遣してもらい、従業員の勤務時間を調整し、生活習慣病の改善指導などを行っている。

取り組みの特徴として、直接面談して指導や相談をする「コミュニケーション重視型」。始業時の点呼は、数値だけでなく、話し合いの中で微妙な心身の変化を読み取る。

取り組みにより医療費を適正化

こうしたきめ細かな取り組みにより、同社は医療費の適正化を実現している。例えば、被保険者一人当たりの年間医療費は、平成29年度において全国平均、群馬支部平均、同業種平均を下回り、同社の取り組みが結果として表れている。

「我が国の保険医療システムのみならず、事業者が健康経営に取り組むことで従業員が健康になり、その結果医療費の適正化につながれば、これも大きな社会貢献と言えます」と里見課長は語る。



▲2020年の健康経営優良法人認定証

健康経営の取り組み

- ①社内コミュニケーションを重視した健康管理体制
- ②数値目標を立てて実効性のある施策
- ③心身ともに健全で安心できる職場環境の醸成

始めた経緯

安全と安心が最重要な業種であり、以前から幅広い健康管理を実施してきた。総合的な取り組みにより、結果を出せるような包括的かつ的確な推進を行っている。

株式会社 群馬バス

乗合バス事業／貸切バス事業／旅行業 など



設立 2001年4月12日
代表取締役 大島 義一郎
従業員数 約300人
〒370-0073 高崎市緑町3-2-3
TEL 027-364-1111
https://www.gunbus.co.jp/



大島 義一郎社長

お客様に安全で快適な輸送サービスを提供するため、従業員の健康管理には万全を尽くしております

江戸時代の儒学者佐藤一斎の言葉に「心志を養うは、養の最なり」とあります。まさに心の健康こそが健康経営の第一歩だと思っております



里見 義博課長



安全性最優先のため、ドライバーの健康管理には最大限の配慮



運動と親睦を兼ねて野球部をつくり、練習に汗を流している

お客様からの信頼が最大の財産、だから従業員の健康を重視

栄運輸株式会社は、伊勢崎を拠点に、関東一円と一部隣接県をエリアとする物流企業だ。新鋭車両を数多く備え、大小貨物の輸送と、お客様のニーズに合わせたロジステックシステムを提案し、業績を伸ばしている。

運送業の要はドライバー。日々緊張を強いられる従業員のために、健康管理を最優先事項としている。

点呼時の

健康チェックを徹底化

一般的な定期健診はもちろんだが、二次検査が求められた従業員には、必ず受診する



▲自分で血圧を測れるように血圧計を常設



▲管理者が一人一人直接点呼を行い従業員の健康状態を確認する

ように促している。

日常業務では、始業時の点呼を重視し、ドライバー自身による血圧測定をはじめ、管理者が一人一人の心身の状態を入念にチェックする。また、安全衛生委員会が定期的な各部署を点検し、問題点を指摘して迅速な解決処理を行っている。

生活習慣病の

予防を重視した健康管理

従業員の平均年齢は約45歳、仕事はどうしても時間的に不規則になりがちだ。そのため、特に生活習慣病予防を重点に指導している。禁煙や塩分の取り過ぎなどは、産業医や保健師などによる、データを示した指導により、年々



▲社内にある卓球台で、気楽にスポーツを楽しむ従業員

改善の方向を示している。

ドライバーは、一人の時間が長いと、従業員同士の親睦とリラクセスのため、野球部、卓球部をつくって定期的に大会を開いている。

代表の篠原利行社長は「体の健康はもちろんですが、メンタル面の不調も事故につながりやすい。ストレス低減や、心の相談に応じるシステムをつくっています。問題が起らないように、健全な生活、問題を放置せずきちんと対処するように話しています」と語ってくれた。

健康経営の取り組み

- ①健康診断の受診率 100%
- ②積極的に特定保健指導を受け、問題点を解決の方向に
- ③ストレスフリーを目指し、社内の親睦を重視

始めた経緯

以前労災事故があり、その解決に苦勞した。そうした問題が今後起こらないように、従業員が健康で働きやすい、安全な職場環境づくりを進めてきた。その一環として生き生き健康事業所宣言にエントリーした。



篠原 利行社長

従業員の健康が、お客様からの信頼につながります

健診の結果や、生活習慣病改善が見られた従業員を表彰する制度を設けています。それがインセンティブになればと思います



寺田 一幸さん

栄運輸 株式会社

一般区域貨物運送事業／自動車運送取扱事業



設立 1989年4月1日
 代表取締役 篠原 利行
 従業員数 36人
 〒372-0011 伊勢崎市三和町2529
 ☎ 0270-40-5670
 🌐 <http://sakae-unyu.co.jp/>



人材が企業の力。社員を大事にするのが業績につながる



毎月1回、社員の健康管理や安全に関する現場の担当者が集まり、問題点を話し合う安全衛生委員会

人材育成の一環として 健康管理に取り組み

三幸機械株式会社は、一貫生産が特徴の金属部品加工メーカーである。関東でも有数の大型MCや旋盤などを備え「三幸でしかできない」高い技術力を持つ。大型精密加工に独自のノウハウを持ち、優れた技術者・加工者を有している。

そのため、人材育成に力を注ぎ、社員の健康はもちろん、福利厚生などにも配慮している。特定健診の受診をはじめ特定保健指導も積極的に取り入れ、協会けんぽから優良事業所として表彰されている。



▲安全性や効率につながる取り組みで社員の健康への自覚も深まった

「生き生き健康事業所宣言」 をきっかけに社内体制を再整備

同社では従来から安全管理者を委員長とし、衛生委員長や工場長、各部署から選出された安全衛生委員などから構成される「安全衛生委員会」を毎月1回開催している。協会けんぽから生き生き健康事業所宣言エントリーを推奨された際に、委員会ですら内の健康に対する取り組みを改めて検討し、特定健診や特定保健指導に加え、会社独自の取り組み（ラジオ体操の実施・減塩調味料の常備・社内レクリエーションの実施）を行う体制を整備した。この取り組みにより、その後を経産省より創設された「健康経営優良法人認定制度」の申請においては実施基準のほとんどの項目をクリアしており、創設初回となる2017年度認定においては群馬県内では4社しかない認定企業の1社に選ばれた。



▲社員食堂には、減塩調味料が常備され、自由に使うことができる

健康経営の取り組み

- ① 特定保健指導の積極的な取り入れ
- ② 各役員と部署選出者により安全衛生委員会を設置
- ③ 健診優良者には特別手当を支給



▲運動不足解消と親睦のためにボウリング大会を開催

健康診断の結果による 特別手当を支給

年1回の健康診断の結果が良かった社員に対し、その後1年間「健康手当」が毎月支給され、各自の努力を評価している。また、毎年の全国労働衛生週間には社員全員に健康に対する取り組みを報告させて、優秀者を表彰している。

担当の黒澤総務部長は「当社は60歳定年ですがほとんどの方が再雇用され、会社側もできるだけ長く勤めてほしいと考えている。そのためにも社員の健康管理に努めたい」と語ってくれた。

三幸機械 株式会社

金属機械加工



設立 1974年5月
 代表取締役社長 石井 健介
 従業員数 90人
 〒370-0026 高崎市下滝町433-22
 ☎ 027-347-2229 (代表)
 http://sankokikai.co.jp/



石井 健介社長

健康は、本人の自覚と努力が大事。取り組みを通じて社員の意識を高めていきたい

従来行ってきた社内
の健康運動が評価された



黒澤 巨部長

始めた経緯

協会けんぽから優良事業所の表彰を受けた際に生き生き健康事業所宣言を推奨され、健康に対する社内体制を改めて整備した。



100年企業を目指し、 人材を大事にする社風



健康診断は受診率100%



▲血圧計を設置し、チェック結果を記録して社員の健康管理に役立てている

「できない」を言わず、
実現に努力

サンヨー株式会社は、金型の設計製作、樹脂の射出成形、難削材の機械加工など、一貫生産体制が特徴のメーカーだ。どんなに困難な仕事であっても、お客様のニーズに「できない」を言わない社風を貫き、完成度の高い製品を送り届けてきた。

そのため、人材育成に力を注ぎ、最新鋭の設備にベテランと若手をバランス良く配置することで、技術とノウハウの継承と発展を実現している。

「社員は宝」をモットーに
福利厚生を充実

質の高い社員の育成には、健康管理が基礎となる。そのため、定期健診の100%受診はもちろん、毎日のラジオ体操、ソフトボール大会や運動会などの親睦を兼ねたイベントを定期開催している。

社員の健康維持のため、トレーニングジムの法人会員となり、社員全員が利用できるようにしている。その他スポーツを楽しむ機会を増やしている。



▲社員同士の親睦を深め、ストレス低減のために、ボウリング大会などのイベントを定期的開催している



▲協会けんぽや各種の健康情報をまとめて掲示するコーナーを設置

人と環境に優しい企業

職場の安全・衛生には特に力を注ぎ、安全衛生委員会を設置して、問題点の解決、現場の巡回を行い、クリーンな環境整備を行っている。Oイルミスト対策などにより、職場環境の改善が達成できた。



▲始業前に部署ごとにラジオ体操を行う

健康経営の取り組み

- ①全社員の健康診断
- ②インフルエンザ予防接種を会社が補助
- ③トレーニングジムの社員利用

始めた経緯

社員の健康が、業務の的確な遂行の基盤であり、また、福利厚生を重視することで、全社員のやる気を高める。

サンヨー 株式会社

金属加工



設立 1975年9月
代表取締役 高瀬 忠尚
従業員数 180人
〒375-0002 藤岡市立石1510
TEL 0274-42-5757
http://www.sanyo-inc.co.jp/



高瀬 和之取締役

お客様に「できない」を言わないが当社のテーマ。困難に立ち向かう意欲を醸成するため、社員の健康管理を重視している

豊富な健康・衛生関連の情報を、わかりやすく社員に伝えるようにしています



田島 あずささん



心身共に健康な職員だから、 最高の医療サービスを提供できる



「ヘルスパーク」のコンセプトで設置したフィットネスクラブは、職員も利用できる



▲健康管理のため、各部署の担当者が集まり定期的に会議を行う

「ヘルスパーク」構想で、全国的に注目を集める

医療法人社団美心会・黒沢病院は、地域医療の中核として総合的な医療サービスを提供している。最先端の高度医療から、生活習慣病の予防医療のためのフィットネスクラブまで備えたヘルスパークを展開し、新時代の総合病院として全国的に注目を集めている。

医師をはじめ、各分野の専門スタッフなど職員数は約700人に上り、良い人材を確保するため、福利厚生には最大限の努力を払っている。他の事業所の産業医や保健指導をするかたわら、医療法

人として自らの健康管理室を設け、職員の健康管理に当たってきた。

予防医療が、健康と健全な医療保険制度維持に不可欠

昨年、50代の職員が脳出血で倒れたのをきっかけに、40歳以上の職員全員に脳ドックを無料で実施。2人に小さな動脈瘤が発見され、適切に処置された。もし、検査されなければ重い症状になりかねず、医療費もかかったケースである。

社団美心会では、この事例が示すように、事前に発見、対処することが、健康を守り、かつ健全な医療保険制度を維持するために欠かせないというポリシーのもとに、総合的な予防医療を推奨している。

ぐんまマラソンに

職員150人が参加

予防医療に重点を置き、生活習慣病を防ぐために職員には、日頃から運動を推奨している。その一つとして例年150人ほどの職員がぐんまマラソンに出場している。バス数台で職員を送迎し、終了後は慰労会を開催。

健康経営の取り組み

- ① 健康管理室を設け、職員の健康管理を統括
- ② 生活習慣病への対処としてフィットネスクラブを職員も利用可
- ③ 医療機関として予防医療の重要性を实践



▲ぐんまマラソン参加を一つの目標にトレーニング。その甲斐あって例年150人程度の参加がある

参加者には焼肉食べ放題に加え、成績優秀者に対して賞金を授与するなど、職員を励ましてながら運動への関心を高めている。また、月例の職員研修会では、食事、運動、休養のバランスの必要性などをテーマとし、生活習慣病予防の啓発もおこなっている。

社団美心会の黒澤功理事長は「病気になる体をつくるのが健康管理の第一歩です。そのため当法人では、フィットネスクラブを設置して、健康生活を提唱しています。大切な職員の健康を守ることが、患者様へのよりよい医療サービスにつながるからです」と話してく

医療法人 社団美心会

黒沢病院／ヘルスパーククリニック



開院 1977年12月(黒沢病院)
設立 1996年11月
理事長 黒澤 功
従業員数 約700人
〒370-1203 高崎市矢中町187
☎ 027-352-1166 (代表)
🌐 <http://www.bishinkai.or.jp/>



黒澤 功理事長

大事な職員を守るために、法人として力を尽くしています。予防医療の見本となるように努力しています

生活習慣病を防ぐため、職員には運動を奨励し、当法人のフィットネスクラブの利用や、ぐんまマラソンへの参加を推奨しています



齋藤 寛司さん

始めた経緯

従来から医療法人として、職員の健康管理には最大限の配慮を行ってきた。協会けんぽからのすすめで生き生き健康事業所宣言に取り組んだ。



健康をキーワードに「働きやすさ・働きがい」のある職場づくり



始業時に業務関連と並行して、健康管理の注意なども取り上げる



▲血圧計の設置、協会や健康管理関連の連絡事項をまとめたコーナーを作っている

総合的な 健康管理システムを構築

株式会社ソフィアは、パチンコ遊技機の有力メーカー。変化する業界の中で、パイオニア精神で業績を伸ばしてきた。常に技術革新と生産性の向上が求められるため、その基礎となる社員の健康管理に尽力し、独自に総合的な管理システムを作っている。

まず、基本となる定期健診を確実に受診させる。35歳以上の社員は、会社が指定する2つの医療機関で実施し、女性は婦人科検診も含む。



▲職場ごとにラジオ体操を実施

毎週水曜日を ノー残業デーに

受診結果や二次検査のデータをチェックし、必要な場合はより踏み込んだ受診を促し、改善のための努力を継続する。

また、精神面での健康診断のため、契約業者によるストレスチェックを行い、問題がある場合は、専門家による対応をはかる。

ワークライフバランスの面から、時間外労働時間の短縮に取り組み、社員の残業時間を管理し、過重労働の低減化に努めている。対策の一つとして、毎週水曜日を定時退社の日と定めている。

多彩な健康テーマの 研修カリキュラム

健康増進は、生活習慣病の予防など、本人の自覚が重要だ。そのために協会けんぽによる生活習慣病予防健診の結果から、必要な社員を対象に、保健指導を行っている。さらに社内ポータルサイトを通じて、全社員に健康をテーマにした情報提供を行っている。

健康には心の安定や社内での良好な人間関係が深く関係している。その観点から、組合などが主催する各種イベントを実施。また、昼食にイベントデーを設け、平日よりもスペシャルメニューを低価格で提供し、社員の和みの場としている。



▲カフェテリアではバランスの取れた食事をとることができる

健康経営の取り組み

- ① 自社独自の「健康管理システム」を構築
- ② 健診、二次検査、相談、治療など各種のプログラムを用意
- ③ 精神面の健康管理も重視

始めた経緯

従前から総合的な社員の健康管理を系統的に構築していた。協会けんぽのチェックシートを活用し、自社システムの見直しにもつながると判断し、取り組んだ。

株式会社 ソフィア

パチンコ・パチスロ遊技機およびホール周辺機器の開発・製造



設立 1951年3月
代表取締役 井置 定男
従業員数 135人 (令和2年2月現在)

本社：〒376-0002 桐生市境野町7-201
太田事業所：〒373-0019 太田市吉沢町990
☎ 0276-36-1717 (太田事業所) 🌐 <http://www.sophia-net.co.jp/>



井置 定男社長

「生き生き健康事業所宣言」をステップに、今後とも社員の健康増進をはかっていきます



木村 政人課長

「働きやすさ・働きがい」をテーマに、現在の健康管理システムを、一層充実させていきたいと思っております



着実に体系的な健康管理が、 社員の健康向上につながる



毎朝社員全員でラジオ体操を行い、作業に備えている



▲産業医や協会けんぽなどからの情報を、社員に提供している

**安全、信頼を積み上げる
には、社員の健康から**

株式会社鐵建は、大型建築物の構造体となる鉄骨加工を専門業務とする金属加工メーカーである。近年の超高層建築ブームや、高耐震性への需要の高まりに応え、鉄骨專業ファブリケーターとして高い評価を得ている。

重量物を扱う業務だけに、社員の安全管理には従来から万全の配慮を払ってきた。同時に信頼性の高い仕事を支える社員の健康にも留意し、協会けんぽの生き生き健康事業所宣言に登録している。

「健康づくり担当者」の設置

直接的な対応として、事業部ごとに社員の健康管理の窓口となる「健康づくり担当者」を置き、保健指導実施等の連絡網を整えている。

朝のラジオ体操や野球部の



▲ビル構造となる重量鉄骨などを扱うため、安全管理には十分な配慮が不可欠

**安全衛生委員会を中心に
多角的な取組**

健康管理の中心となる安全衛生委員会では、定期健康診断や、5Sパトロールを始め、整理・整頓など基本的な対策を徹底して行っている。

その結果をもとに、産業医や保健師による保健指導や相談の場を開設し、個々の社員の問題解決を支援している。



▲毎日の朝礼では、健康管理について触れることも多い

活動など、運動の場を確保することにも重点を置き、メタバオに悩む社員には、トレーニングや生活改善をアドバイスしている。

担当の吉田喜久雄安全衛生管理者は「社員の平均年齢は約36歳と若い方ですが、ベテランではメタバオや、生活習慣病など健康の悩みを抱えるケースも目立ちます。症状が出る前に対処するように、十分な指導を行っていききたいと思います」と話してくれた。

健康経営の取り組み

- ①月例の安全衛生委員会開催で社内の健康体制をチェック
- ②産業医より時宜に応じた健康講話を受け、社内に伝達掲示
- ③保健師が定期的に保健指導に來社

始めた経緯

定期健診や二次検査など基礎を大事にした健康管理に取り組み、成果を上げていた。協会けんぽからの紹介で生き生き健康事業所宣言に合わせた社内状況をチェックし、改めて総合的なチェック体制を確認している。

株式会社 鐵建

鉄骨ファブリケーター



創立 1954年2月
代表取締役社長 小山 慎一
従業員数 83人 (2019年4月現在)
〒375-0043 藤岡市東平井1410-4
TEL 0274-40-8040 (代表)
https://www.tekken-k.com/



小山 慎一 社長

安全衛生委員会を中心に、社員が安心して働ける環境づくりに努力しています

若手からベテランまで年齢や体調に応じたきめ細かな対応が重要だと思います



吉田 喜久雄さん



お客様にやすらぎを提供する ためには、従業員のやすらぎ を確保することが最重要



長期休暇の取得推奨や従業員食堂のメニューの充実など、福利厚生に力を入れている



▲社員寮は個室で、ホテルから徒歩5分

年間約20万人のお客様を温かいサービスで迎える草津温泉を代表するホテルヴィレッジは、恵まれた自然環境を生かした「森と生きる温泉リゾート」。豊かな自然の中で楽しめるリゾートホテルとして、国内外からお客様を集めている。

年間約20万人のお客様を迎える当ホテルは、日々お客様に寄り添った心温まるサービスの提供に定評がある。運営会社である株式会社中沢ヴィレッジは、従業員のために職場環境の整備及び、健康管理をサポートしている。

人事制度、福利厚生の 抜本的な見直しを実施

ホテル業界は、就業体系が不規則なことや休暇取得が困難であるなどの理由により、一般的に従業員の離職率が高いと言われている。そうした状況を踏まえ、人事評価制度を2年前に改め、努力した分だけ評価に反映されるMBO制度とした。また、休館日の大幅な拡大により全従業員の長期休暇の取得率が上がっている。さらに従業員食堂では、福利厚生の一環として、フレンチ部門出身のシェフが調理した肉・魚・麺類の3種類の定食が安価で用意されている。加えて健康面では、毎年行う定期健診、二次検査に加え、メタボ対策のための管理栄養士による特定保健指導など、日頃から心身ともに健康でいられる環境を整えた。

これからの時代に対応するためのダイバーシティ・マネジメント

同社は、年齢、性別、国籍、障がいの有無を問わず多様な文化背景を持つ従業員を受け入れ、働きやすく働き甲

健康経営の取り組み

- ①健康経営が結果としてサービス向上につながる
- ②人事評価制度を見直し、待遇の改善
- ③ダイバーシティ・マネジメントを推進



▲従業員対象に感染症対策や、生活習慣病予防のための健康セミナーが開催されている

斐のある環境を目指すダイバーシティ・マネジメントに取り組んでいる。

こうした総合的な施策の結果、モチベーション向上やプライベートの充実を図ることで、従業員の定着率が劇的に好転している。

小西弘晃代表取締役社長は「お客様に満足していただくためには、サービスを提供する従業員が幸せでなくてはなりません。」

また、当社では協会けんぽの加入者を対象に、施設を利用することで心身ともに健康になつてもらうことを目的として、通常宿泊料の10%を割引する優待サービスを実施しています」と語ってくれた。

株式会社 中沢ヴィレッジ

ホテル業



設立 1967年7月
代表取締役社長 小西 弘晃
従業員数 280人
〒377-1711 吾妻郡草津町大字草津618
TEL 0279-88-3232 (代表)
https://www.hotelvillage.co.jp/



小西 弘晃社長

当ホテルを利用されるお客様に「やすらぎ」と「しあわせ」を感じていただくために、従業員が仕事に励みたくなる職場環境実現に努めています



矢島 利夫支配人

設備点検期を利用して休館日を設定、長期休暇を取れるようにしました。館内、従業員すべての衛生管理には最善をつくしています

始めた経緯

宿泊業が職業として選ばれるために、人材不足に苦しむ地方の宿泊業を牽引して、抜本的な職場環境の改善に取り組む。そのために健康経営を重視する。



顧客満足度を高めるために、 質の高い従業員を育みたい



始業前に職場ごとにストレッチ体操を行う。ラジオ体操をもとに自社独自のアレンジが加えられている



▲作業中の事故が起きないように作業員全員で安全唱和「安全確認よし！」

現場の工夫で生まれた 「中沢ストレッチ体操」

株式会社中沢工業所は、昭和12年（1937）に東京で創業した長い社歴を持つ。当初から精密金属部品メーカーとして、自動車や通信、計測機器などの部品製造を手掛けてきた。時代に合わせた最新の工作機器を導入し「高いレベルの顧客満足度」をモットーに、業績を新調させてきた。

従業員が最善の状態での業務に取り組むため、当社では以前から始業前に独自のストレッチが行われてきた。従業員たちの工夫により、一番体がほぐれ、良い状態で業務ができる柔軟体操である。同社オリジナルのもので「中沢ストレッチ体操」と呼ばれている。

健診の徹底、専門家の アドバイスのによる体質改善

健康のためには、まず現状を知る必要がある。そのため、定期健康診断の受診率は100%。二次検査もほぼ全員が受けている。また、希望者には産業医や保健師による相談やアドバイスを受けられるが、これにより体調不良を克服した従業員も数多い。

以前は喫煙者が多かったが、生き生き健康事業所宣言への取り組みの中で、室内禁煙はもちろん、分煙を押し進め、社用車も禁煙となっている。



▲同社は全社禁煙。営業車も車内禁煙になっている

AED、体重計、 血圧計を設置

社内には万が一に備え、AED（自動体外式除細動器）と、指導を受けた担当者を置いている。

健康経営の取り組み

- ①定期健診の受診率 100%
- ②社内禁煙、分煙の徹底
- ③AED、血圧計などの設置

始めた経緯

健康診断の受診率が高く、協会けんぽから生き生き健康事業所宣言のエントリーをすすめられた。社内の健康管理の再構築に寄与すると判断し、取り組みを行い、申請に踏み切った。



▲緊急時、設置しているAEDを正しく使えるように、AEDの使用訓練や心臓マッサージ訓練などを定期的に行っている

食堂には体重計や血圧計を設置し、従業員が健康の自己管理ができるようにしている。

「生き生き健康事業所宣言」に至る取り組みの中で、実際に従業員の健康状態が良くなってきています。最大の成果は、みんなの意識改革ですね。これまで漫然と使っていた塩や醤油を減塩にしてみたり、産業医に積極的に相談したり、自分自身で健康管理をしなくては、という意識が高まっています。健康は何より本人の自覚からだと思えます」と担当の吉村剛さんは語ってくれた。

株式会社 中沢工業所

プレス加工／金型設計製作



創業 1937年10月
代表取締役 中澤 志光
従業員数 73人
〒370-1201 高崎市倉賀野町2918-14
TEL 027-346-3611 (代表)
http://www.nexus-n.co.jp/



中澤 志光社長

良い人材の基本は健康でストレスの少ない職場環境です。お客様満足度アップのため、健康管理を推進しています

健康への関心を、従業員に持ってもらうことが必要。正確に必要な情報提供で、意識改革を進めていきたい



吉村 剛さん



成長する企業は、 社員を大切に



健康に有意義な取り組みをした社員を、社員同士が投票で選び、会社が表彰する



▲効率の良い作業ができるように、ラジオ体操で体をほぐす

伸びる企業の特徴は、社員を大事にするという統計データ

株式会社野口製作所は、プレス加工を中心に、金型製作、アッセンブリ加工などを行う金属部品メーカーだ。ステンレス鋼のトランスファープレスなど、難易度の高い加工を、高い技術力とノウハウでクリアしている。そのため金型の独自製作も手掛ける。

同社のモットーは「いい経営者は社員を大切に」。元法政大学大学院政策創造研究科教授の坂本光司氏が、全国の業績の良い中小企業を調査分析した結果、伸びている企業の特徴として「社員を大切にしている会社ほど伸びる」という結果が得られた。同社の野口大輔代表は、自

その結果、業績の伸びはもちろんだが、群馬県1社1技術、安全優良事業所の認定を受けるなど具体的な成果を生んでいる。健康面での施策として定期健診、二次検査の100%受診をはじめ、ラジオ体操、インフルエンザの予防接種などはもちろん、多彩な取り組みを行っている。制度だけでなく、実際に成果を上げた人を、社員が投票で選

健康的な活動をしている人を、社員が選んで投票し表彰

社の経験則とも合致するこの提言を知って共感し、社員の福利厚生に一層努めるようになった。



▲経営のポリシーを、社員全体で共有するために、経営哲学を掲げている



▲各種のマスクを自由に使えるように設置

モチベーションの高い社員は、お客様にも高評価

び、創業記念日に会社が表彰し、報奨金を支給している。

社員の自主性を重視した健康経営の取り組みは、お客様からの評価も高い。同社社員の前向きでイノベーション能力の高い勤務態度は、ユーザーの難しいニーズを次々とクリアし、それが受注増となるなど好循環を生んでいる。

社員が健康で安心して働ける職場づくりには、家族の協力も必要だ。家族との時間を大切にするために、誕生日の定時退社、産休や育休なども取り入れ、モチベーションを高めている。

健康経営の取り組み

- ①「社員を大切に」の基本は健康
- ②健康を改善した社員を表彰し、報奨金を出す
- ③家族との時間を重視するため、ノー残業デーを設定

始めた経緯

生き活き健康事業所宣言エントリー以前に「伸びる会社は社員を大切に」という考えに共鳴し、社員のモチベーションを高めるための福利厚生施策に力を入れていた。そのためチェック項目は、ほぼクリアしていた。

個々の制度も大事ですが、経営者側が「働きたいのある職場づくり」というポリシーを出すことで、社員の健康への自覚が高まります



野口 大輔社長

株式会社 野口製作所

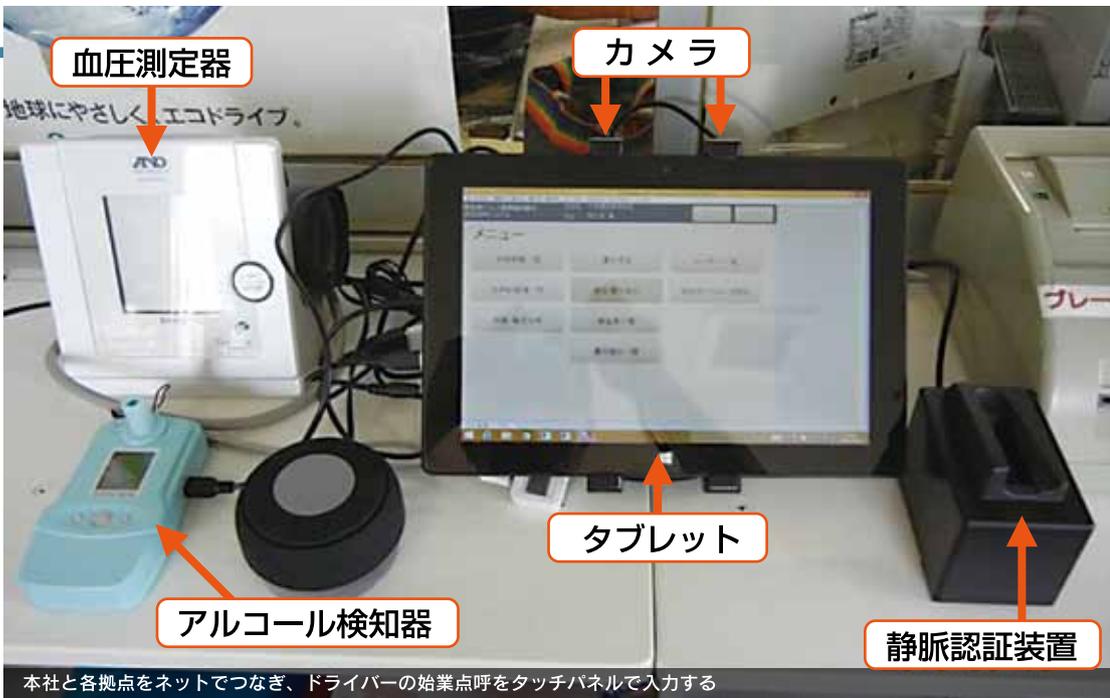
金属 プレス加工



設立 1967年2月
代表取締役社長 野口 大輔
従業員数 22人
〒370-2462 富岡市下丹生1494-3
TEL 0274-63-7131
http://www.noguchi-ss.co.jp/



本社、拠点を「IT点呼」で結び、 従業員の健康チェックをシステム化



本社と各拠点をネットでつなぎ、ドライバーの始業点呼をタッチパネルで入力する

従業員が、安心、安全に
長く働ける職場環境づくり

株式会社ボルテックスセイグンは、物流を核に、幹線輸送から危険物、小口まで幅広い業務体系を持ち、同時に倉庫や包装などロジスティクスに関わる幅広い事業を行っている。また、ボルテックスグループとして自動車整備、旅行業、タクシー、保険など関連ビジネスを展開している。安全第一主義に基づいて、安全、品質、効率を追求し、そのための独自の健康管理システムを構築している。

独自の「IT点呼」システム
に高い評価

多数のドライバーを抱える会社にとって、乗車前の健康チェックは非常に重要。そのため、ITとネットワークを活用した独自の健康管理システムを構築した。これは本社・各拠点にもうけたタブレットなどの端末で、ドライバーが血圧・体温など必要項目を入力し、安全運転のチェックを行うものだ。データは一括管理され、健診項目などとあわせて健康指導に生



▲対面による点呼。蓄積されたデータは、個人々の健康情報として分析される



対面保健指導



遠隔保健指導

▲健診や点呼などで問題のあった従業員を、健康管理の担当者が、テレビ電話などを通じて遠隔地でも指導できる体制をつくっている

かされている。また、社内基準に基づくオプション検査（ABI、ホルダー心電図）などを実施し、ストレスチェックとあわせて結果の分析を行い、従業員の健康相談や職場改善に活用している。

また、ボルテックスグループ全体で、定期健康診断はもちろん、オプション、二次検査の徹底、産業界による健診結果のチェックを行い、異常の早期発見と対策に取り組んでいる。これらの対策が評価され、健康経営優良法人に認定され、また、独自のシステム構築などが高く評価されている。

県内初、協会けんぽとの
特定保健指導受託契約

健康経営の取り組み

- ①従業員が安心して長く働ける職場づくり
- ②タッチパネルで健康チェックできる「IT点呼」システム
- ③社内に保健師の資格を持つ担当を置く

始めた経緯

ドライバーの健康管理のために、端末とネットワークを活用した「IT点呼」システムを構築し、実績を上げていた。協会けんぽのすすめでエントリーして、社内体制全般のチェックに役立った。

株式会社 ボルテックス セイグン

貨物運送業／倉庫業



設立 1951年6月
代表取締役 武井 宏
従業員数 494人 (2020年2月現在)
〒379-0133 安中市原市432
TEL 027-382-3333 (代表)
http://www.vortex.jp/



武井 宏社長

信頼と安全が物流業の基本です。そのため、健康管理には従前から関心を持ち、独自の取り組みを行ってきました

健診の結果をどう生かすかが課題。データの分析や個別の相談を通して、適切なアドバイスをするように心掛けています



保健師の松田 しのぶさん



従業員の健康について考え 業務効率のアップをはかる



従業員の健康には気を使っている

健康経営優良法人に認定

本州油化株式会社は、発泡スチロール等を製造販売しているメーカー。充実した設備と技術の蓄積を基盤に、高い信頼を得ている。

平成28年に協会けんぽの生き活き健康事業所に登録された。平成29年には健康経営優良法人に申請し認定される。その後も継続して認定されていく。



▲主に発泡スチロールの製造を行っている

健康診断受診率100%

健康診断を全員に受診させるため、勤務時間中に病院の健診車に来てもらい、一斉に受診している。当日不在の場合も、勤務時間中に日時を指定し受診している。二次検査が必要な者に対しては、病院に行くように社長が直接指示

健康経営の取り組み

- ①従業員全員の定期健診の実施
- ②健康に関する資料や情報を周知
- ③ラジオ体操を毎朝実施

始めた経緯

協会けんぽからのすすめで従業員が健康であることが経営にとっても重要と感じ、生き活き健康事業所宣言後、毎年健康経営優良法人に認定申請を行っている。

している。特定保健指導も勤務時間中に実施している。ストレスチェックで高ストレス者がいた場合には、勤務時間中に産業医の面談を受けられるようにしている。

健康に関する情報を得るために、協会けんぽ等が行っている健康に関する講習会には、積極的に担当者が出席し、従業員に有用な情報を伝えていく。産業医からも毎月の巡視時に健康に関する情報を得て、社内に告知している。

日常的な場からの健康づくり

健康づくり

会社では、出入り口のアルコール消毒はもちろん、給茶機には熱中症対策のためスポーツドリンクを取り揃えたり、自動販売機には銘柄別のカロリー一覧表を掲示している。毎朝のラジオ体操は継続して行い、ポウリング大会なども行っている。

「従業員が健康でなければ会社の成長も無い、というのが当社の基本方針。これからは積極的に健康経営を続けていく」と成川係長は語る。



◆職場ごとにラジオ体操を行っている



▲熱中症予防の給茶機



本州油化 株式会社

発泡スチロール等製造販売



設立 1969年7月11日
 代表取締役社長 飯塚 正
 従業員数 42人
 〒371-0853 前橋市総社町総社1-5-4
 ☎ 027-251-6431 (代表)
 🌐 <http://honsyu-yuka.co.jp/>



飯塚 正社長

従業員には、健康であってほしいと思っています

従業員が健康であるか日々確認しております



成川 寛係長



健康管理は、自主性プラス 会社の後押しが重要



自分の状態を知ることが健康管理の第一歩

おつづくになりがちな二次検査を、担当者が声がけ

社員の健康管理は、どの会社も力を注いでいるが、株式会社ミツミは運送業ということもあり、安全に直結するドライバーの健康状態には、特に配慮している。健康診断の受診は当然だが、二次検査の通知が来ても多忙にかまけて受けない社員も多い。同社では、健康管理担当者が二次検査を促し、さらに社長自ら訓告することもある。

「高血圧の人は『このくらいなら』と二次検査の通知が来ても、先延ばしする人が少なくありません。『健康経営』に取り組んでから、本人任せにせず、担当者が声がけています」と健康管理担当の田村桂子主任は話す。



▲男性が多い職場なので、喫煙率が高く禁煙の案内が随所に掲げられている



▲月替わりで健康に関する課題を取り上げた「健康新聞」を掲示している

独自の壁新聞をつくって社員の健康意識を啓蒙する

ドライバーの平均年齢が50代前半。そこで生活習慣病の予防のため、飲酒や喫煙の指導、また、食生活改善のために、個別にアドバイスを行う。

全社員用の健康アドバイスとして、毎月「健康新聞」を作っている。編集は田村さんが行い、健康と交通事故の関係、血圧と塩分、当月旬な野菜を使った健康メニューなど、身近な話題を取り上げている。

健康経営の取り組み

- ① 定期健診後の二次検査受診を確認
- ② 月刊「健康新聞」で健康習慣の啓蒙
- ③ 始業前のラジオ体操

始めた経緯

ドライバーの平均年齢が50代で、生活習慣病などに不安を持つ者が目立った。安全な業務を健康面からサポートするため、会社としての取り組みをスタートした。

経営効率向上のために、健康増進は不可欠

トラックの運転は、一瞬の油断が事故につながる。ひいては会社の信用に直結する。的確な運転には健康が最大の要素になる。

生き活き健康事業所宣言以降、健康の重要性を全社員が自覚し、正確な診断と的確な対処を重要課題とし、全社を挙げて取り組むようになった。

その結果、二次検査受診率の向上をはじめ、社員の自覚が深まっている。

「休憩時に社員同士が、コレステロールの話をしたりするようになりました。これも全社を挙げての取り組みの成果の一つだとい感じています」と田村主任は語ってくれた。



▲保冷剤の配布やスポーツドリンクの提供で熱中症対策を積極的に行っている

株式会社 ミツミ

運送業



設立 1988年5月
代表取締役社長 小林 正和
従業員数 約100人
〒371-0216 前橋市粕川町込皆戸380-2
TEL 027-285-5221
https://mitumiunso.co.jp/



小林正和社長

健康への意識を高め、仕事もプライベートも充実してほしいです

健康について、社員にわかりやすく紹介していきたいと思います



田村桂子主任



社員が健康な会社は、 労働生産性が高い



社員でサッカーチームをつくり、ノー残業デーなどには、対抗戦をしている



▲体をほくすため始業時にラジオ体操

砕石生産は、発破作業がと
もない、安全健康面を重視

明盛宏産株式会社は、昭和
39年から採石業を中心に、道
路や建物の基礎用として砕石
を供給し、平成20年からは木
くずのリサイクルプラントも
運用している。

採石は、火薬類で岩床を起
こし、破砕プラントでさまざ
まな加工処理を行う。火薬を
扱う特別な資格を持つ技術者
を有し、重機など大がかりな
設備が必要な事業だ。そのた
め、同社では安全衛生に特に
重点を置き、事故防止はもち
ろん、じん肺予防など健康面
の対策を行ってきた。



▲太田リサイクルセンターに、がれき処理プラントを新設。今年1月より稼働した

抜き打ちの アルコールチェック

そうした業態から、安全衛
生には特に配慮している。定
期健診は社員100%受診、
二次検査もほぼ全員が対応
し、必要な診察を受けてい
る。保健師による特定保健指
導は、本年度は7人の該当者
がおり、約30分ずつ社内で指
導を受けた。

重機をたくさん使用するた
め、協力業者を含め、抜き打
ちのアルコールチェックを
行っている。福利厚生にも力
を入れ、産休、育休などの制
度を充実させ、ワークライフ
バランスから、毎週水曜日を
ノー残業デーとしている。



▲社員用に血圧計を設置し、生活習慣病の予防に役立っている

社員でサッカーチームを
つくり、終業後にプレー
を楽しむ

社員の親睦とスポーツの機
会を増やすため、社員でサッ
カーチームを作り、終業後に
練習プレーしている。ノー残
業デーの水曜日には、多くの
社員が近くのグラウンドで対
抗戦を行ったという。社員か
らは、体力がついてきたとの
声が出るほどだ。

代表の山野井清朗社長は
「仕事を通じて社会に貢献
し、信じ合える仲間と夢を現
したい。そのためには、一
人一人の社員を大事にし、健
康で長く働く社内環境をつ
くっていきたいと思います」と
健康経営の背景を語って
くれた。

健康経営の取り組み

- ① 定期健診、二次検査100%受診
- ② 社内サッカーチームでスポーツの機会を増やす
- ③ ワークライフバランスを重視した勤務体系

始めた経緯

大型重機を扱う業務で、創業当初から安全健康面への配慮をしていた。社員の健康を守ることは、仕事の効率化、労働生産性の向上につながる。そのため、健診、生活指導、禁煙、産休など総合的な健康経営に取り組むことにした。



山野井 清朗社長

いい仕事をして地域や社会に貢献したい。そのため社員が生きがいを持って働ける職場づくりをしたい。健康経営はその第一歩だと考える



新井 一男部長

毎朝始業時の[KYK](危険予知活動)と健康チェックで、危険を予知し、健康に富のある事態を避けるコミュニケーションを行い、安全健康管理を徹底している

明盛宏産 株式会社

砕石、リサイクル事業



設立 1964年6月30日
代表取締役 山野井 清朗
従業員数 38人

〒376-0013 桐生市広沢町5-4714
TEL 0277-52-5666
http://meiseikousan.jp/

群馬県内 健康経営実践企業17社



全国健康保険協会 群馬支部
協会けんぽ

〒371-8516 前橋市本町 2-2-12 前橋本町スクエアビル 4階
TEL.027-219-2100 (代表) FAX.027-219-2106

協会けんぽ 群馬



<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/gunma/>

令和2年3月発行

